

FServer のインストール方法および フローティングライセンスサーバーについて (Windows の場合)

目次

FServer のインストール	3
フローティングライセンスサーバーを稼働させる場合の注意	3
フローティングライセンスサーバーの起動	4
Windows サービスとして実行	7
フローティングライセンスサーバーの稼働確認	9
高度な設定	11
上級者向け情報	14

フローティングライセンスサーバーには、

- ・ GUI プログラム
- ・ Windows のサービス

の 2 通りの方法があります。

Windows のサービスとして稼働させるためには、ライセンスデータファイルを作成する必要がありますが、こちらは GUI プログラムで作成することができます。

FServer のインストール

以下の URL からアーカイブをダウンロードし、解凍してください。

<http://www.pilgway.com/~sergyi/FServer/3DCoat-FServer-1-10.zip>

こちらを解凍すると、3DCoat-FServer というフォルダが作成されますので、そのフォルダを任意の場所にコピーしてください。(このマニュアルでは、C:¥にコピーしています)

FServer はインストーラではなく、単体のプログラムですので、インストールはこれで完了となります。

フローティングライセンスサーバーを稼働させる場合の注意

FServer を実行する PC では、Windows ファイアウォールは無効にしてください。Windows ファイアウォールが機能しているとクライアントからサーバーにアクセスができず、ライセンスが取得できません。

また、セキュリティ対策ソフトが動作していると同様に FServer は正しく動作しませんので (ウイルスやマルウェアと認識されてファイルが削除される場合もあります)、セキュリティ対策ソフトをアンインストールまたは、機能を常時無効にするようにしてください。

セキュリティ上、これらは無効化できない場合はサポートまでご相談ください。(※)

セキュリティフィルタやホワイトリストの設定のサポートを提供できます。

※ファイアウォールやセキュリティ対策ソフトを有効にする場合は、FServer プログラムがメーカー側のサーバーにアクセスできるよう許可するため、以下の項目を解放してください。

- ・ プログラム: FServer.exe および FServer_Service.exe
- ・ ポート番号: 80、8888

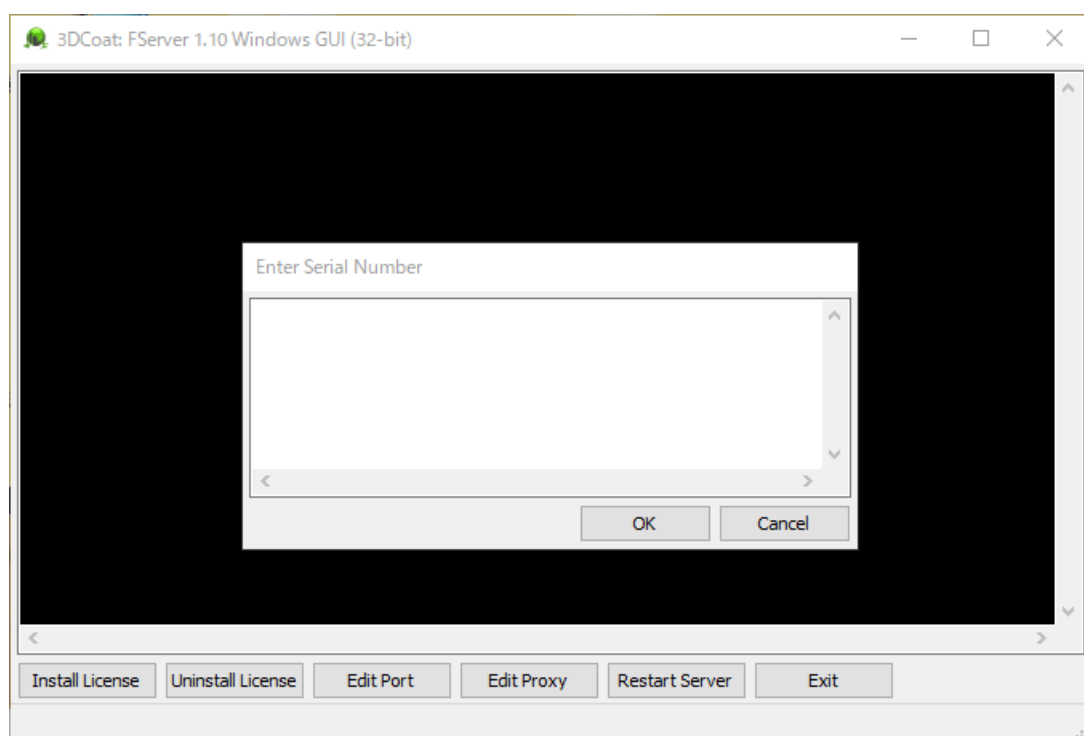
FServer を実行する PC はインターネットに接続できる環境に配置してください。フローティングライセンスサーバーは TCP80 番ポートで起動時にインターネットに接続し、ライセンスの確認を行います。接続できないとライセンスが有効になりません。

サーバーがプロキシ環境にある場合は、「5.高度な設定 2.プロキシ環境にある場合」の設定を行ってください。また、インターネットに接続していない場合は「5.高度な設定 3.オフラインライセンス」を参考にオフラインライセンスを設定してください。

フローティングライセンスサーバーの起動

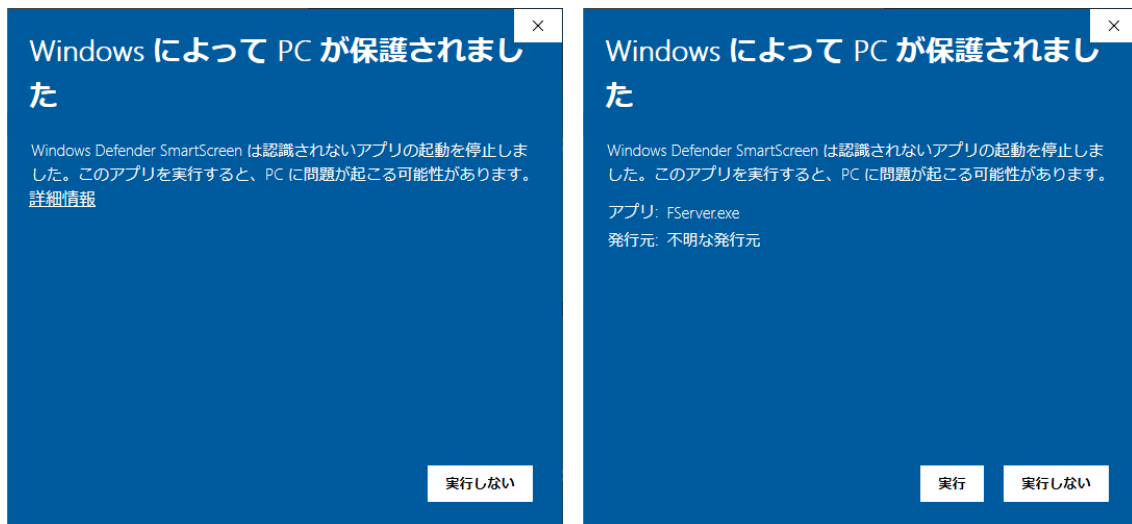
1. GUI プログラムとして実行

3DCoat-FServer のフォルダ下にある FServer.exe (拡張子を表示していない場合は FServer) を実行します。

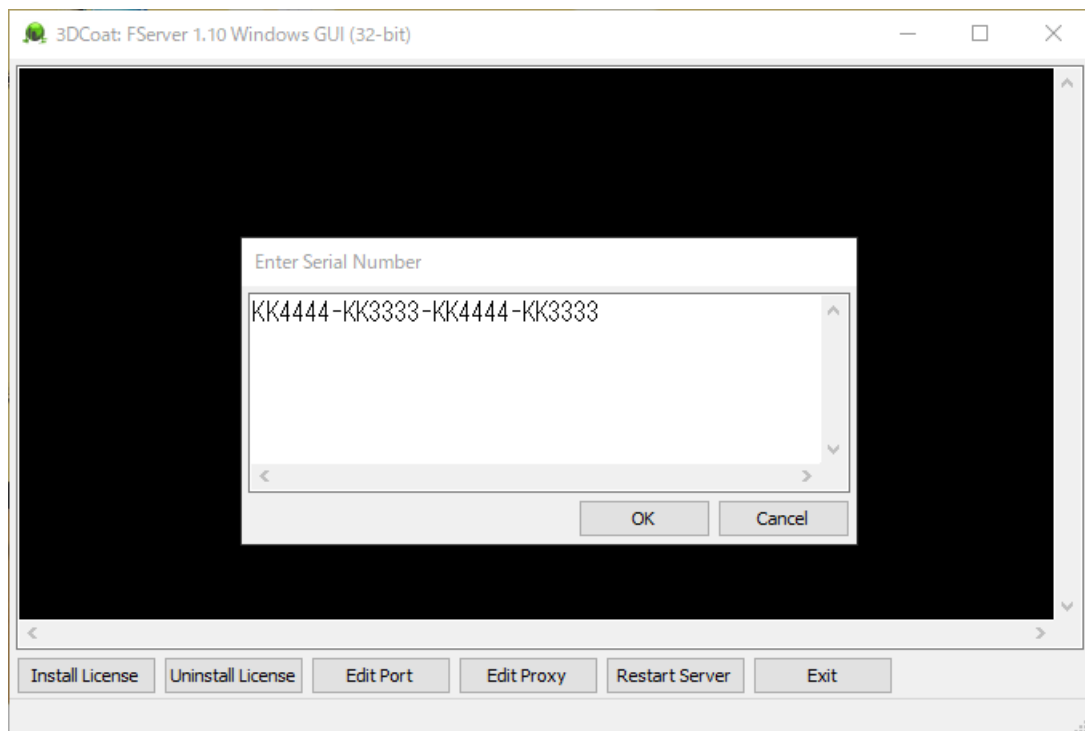


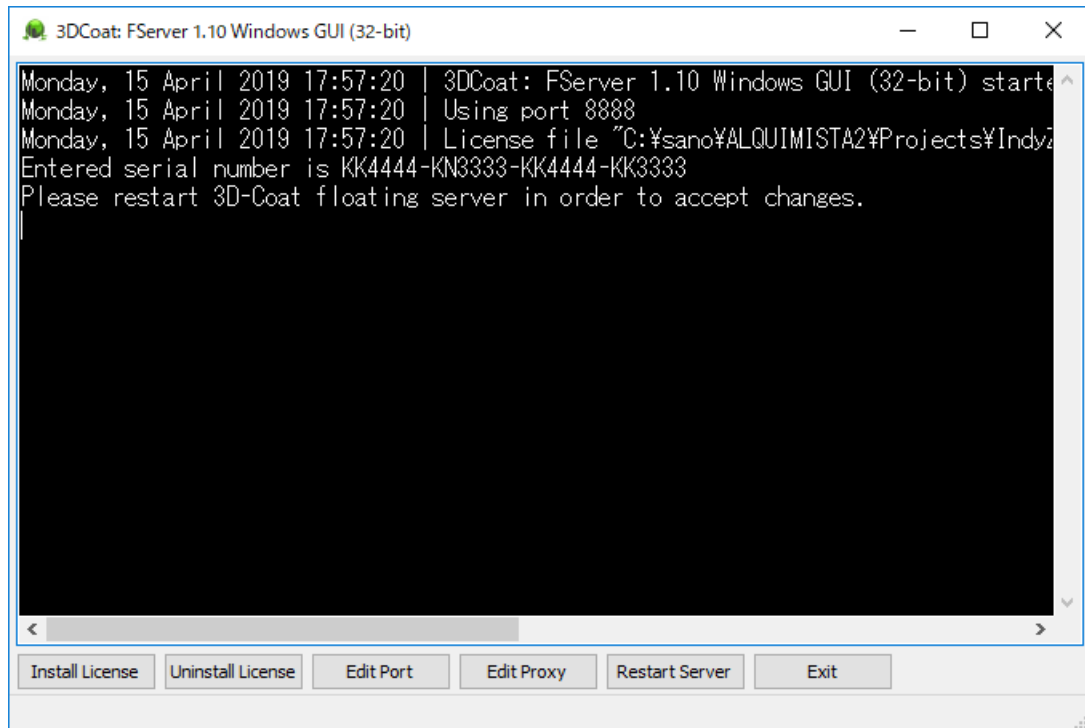
【注意】

Windows10 の場合、以下のようなセキュリティ警告が出る場合がありますが、こちらは問題ありませんので、そのまま「詳細情報」をクリックして実行してください。

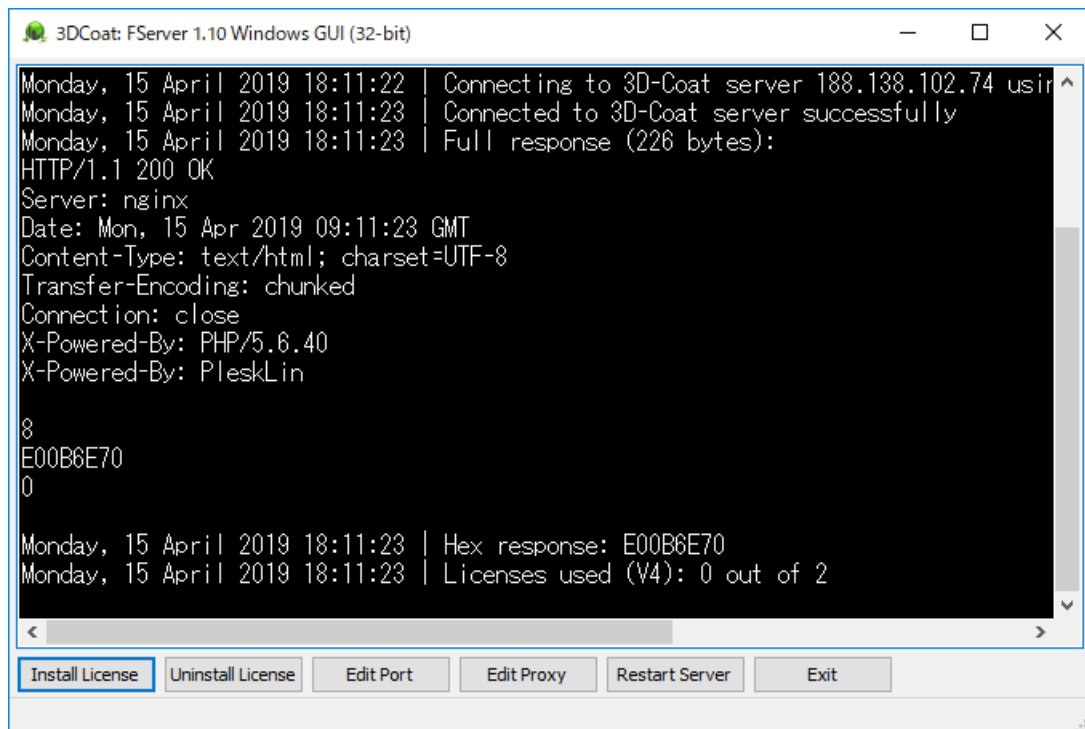


「EnterSerialNumber」のダイアログにシリアル番号を入力し、[OK]をクリックします。
(ここの値はサンプルです。実際は購入の際に提供されたシリアル番号を入力してください。)





license.dat が同じフォルダ(ここでは、C:¥3DCoad-FServer)に作成され、
上記のようなメッセージが表示されます。[Restart Server]ボタンで再起動してください。



フローティングライセンスサーバーのサービスのポート番号をデフォルト(TCP8888)で使用する場合は、
これで完了です。

【注意】

GUI の場合は、フローティングライセンスを提供する間は、常にこのプログラムを実行している必要があります。

Windows サービスとして実行

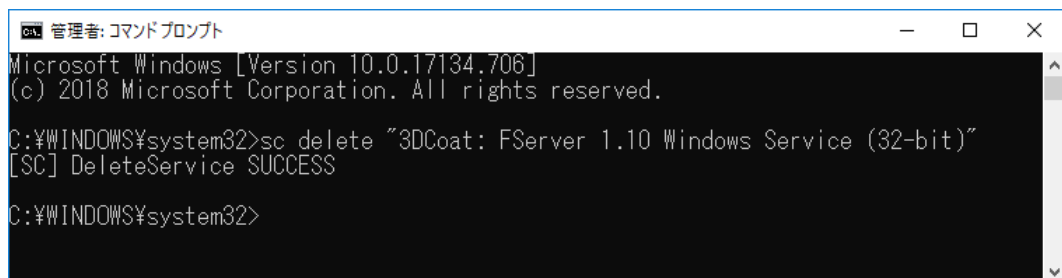
通常は Windows サービスとして FServer フローティングライセンスサーバーを実行することをお勧めしますが、設定には Windows の基礎的な管理知識が必要となります。

【注意】

古いバージョンの FServer Windows サービスがインストールされている場合は、事前に以下の方法で古いサービスを削除してください。

1. サービス管理ツールで、現在インストールされているサービスの名前を確認する
2. サービスが実行中の場合は、そのサービスを停止する
3. コマンドプロンプトを管理者で実行する
4. 以下のコマンドを実行する

>sc delete "古いサービスの名前"



```
Microsoft Windows [Version 10.0.17134.706]
(c) 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\WINDOWS\system32>sc delete "3D-Coat: FServer 1.10 Windows Service (32-bit)"
[SC] DeleteService SUCCESS

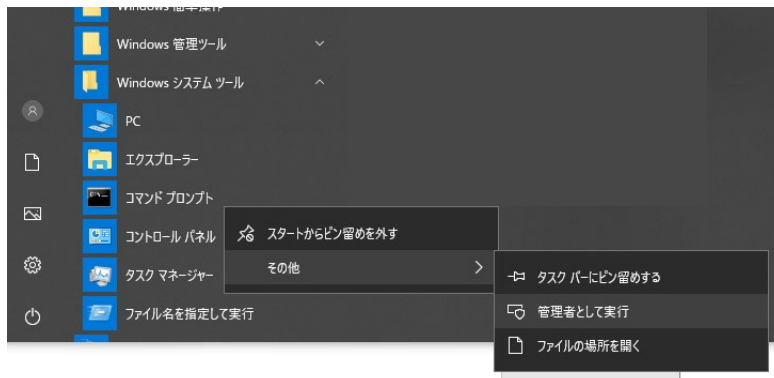
C:\WINDOWS\system32>
```

正しく削除されると上記のように

[SC] DeleteService SUCCESS

と表示されます。(ここで指定したサービス名は一例で環境ごとに異なります。)

Windows のコマンドプロンプトを管理者として実行します。



次のコマンドで、FServer をコピーしたディレクトリに移動します。

```
>cd C:¥3DCoat-FServer
```

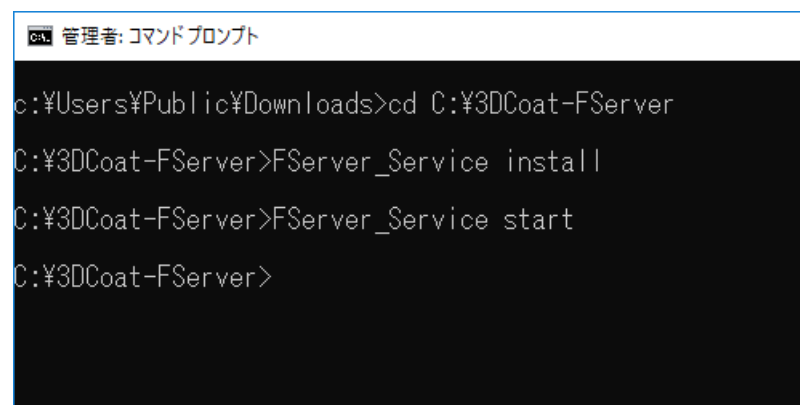
FServer を Windows サービスに登録するコマンドを入力します。

```
>FServer_Service install
```

これで Windows に「3DCoat: FServer 1.10 Windows Service(32bit)」というサービスが追加されます。

次に、このサービスを起動させます。

```
>FServer_Service start
```



```
C:\Users¥Public¥Downloads>cd C:¥3DCoat-FServer
C:¥3DCoat-FServer>FServer_Service install
C:¥3DCoat-FServer>FServer_Service start
C:¥3DCoat-FServer>FServer_Service start
C:¥3DCoat-FServer>
```

【注意】

FServer_Service コマンドは成功しても失敗しても何もメッセージが表示されません。

管理者権限がないとサービスの追加も起動も出来ませんが、その場合でもエラーは表示されません。

サービスの停止や削除は以下のコマンドで行えます。

Windows サービスの停止

```
>FServer_Service stop
```

Windows サービスの削除

```
>FServer_Service delete
```

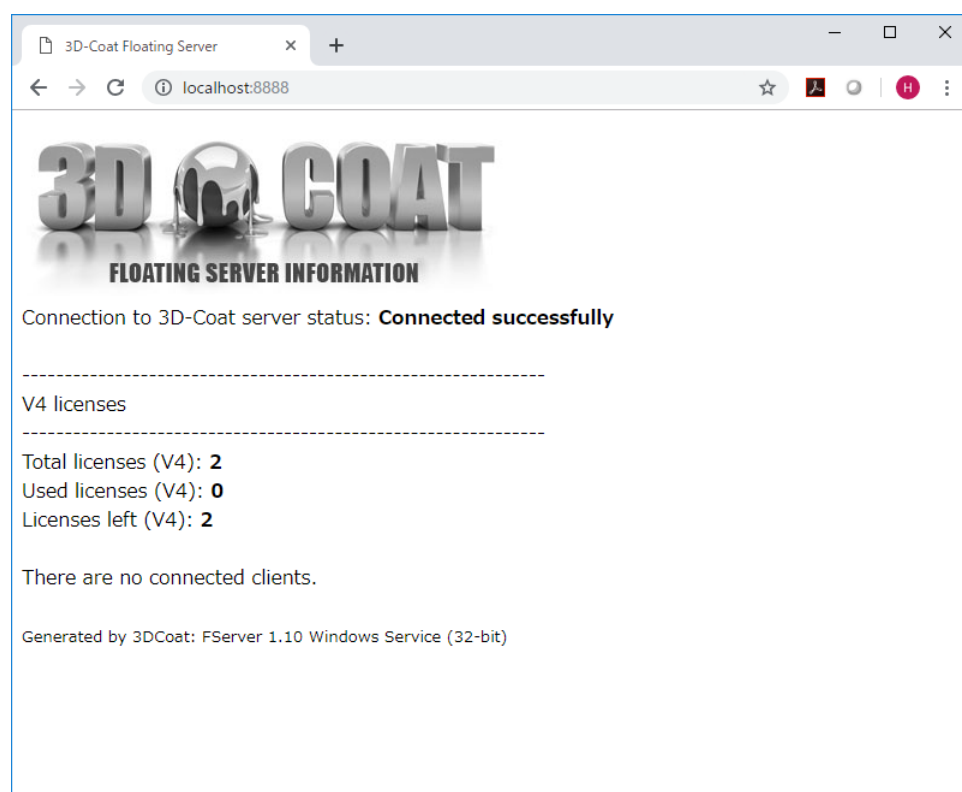
フローティングライセンスサーバーの稼働確認

1. Web で確認

FServer は Web サーバー機能があり、現在の稼働状況、ライセンスの付与状況をブラウザから確認できます。

まずは、フローティングライセンスサーバーが稼働している PC のブラウザから動作を確認します。ブラウザを起動し、アドレスバーに次のように入力します。

localhost:8888

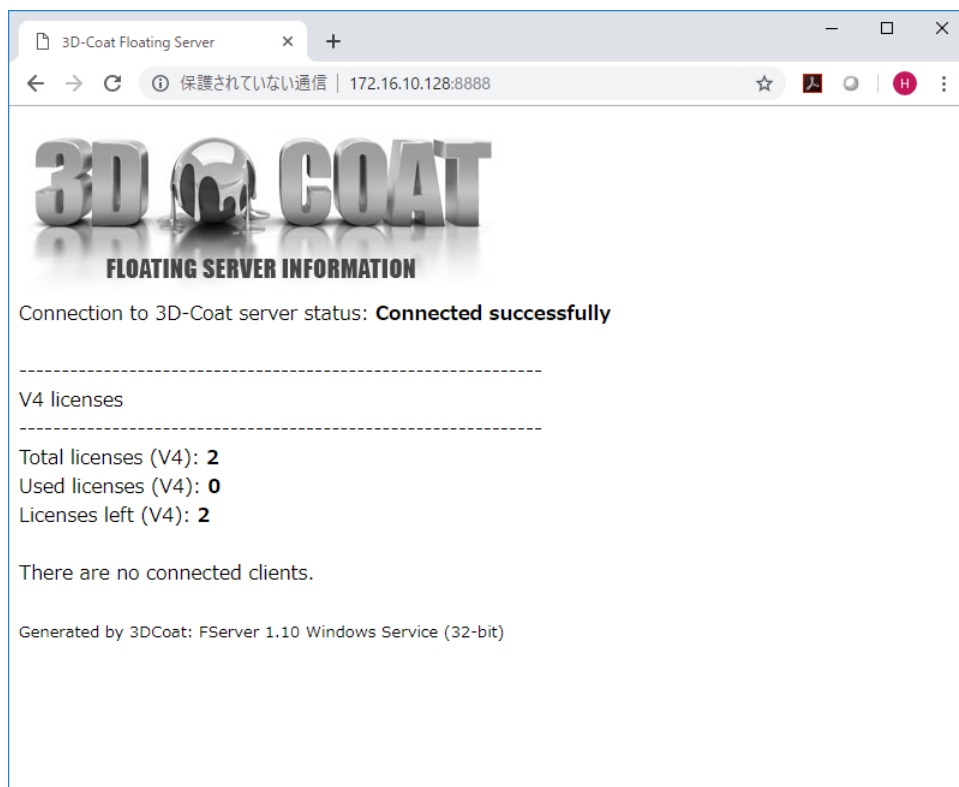


上記の画面が表示されればフローティングライセンスサーバーは正常に稼働しています。こちらにライセンス保有数、現在使用中のライセンス数などが表示されます。

また、3D-Coat を使用するクライアントからも同様に稼働状況を確認します。その場合は、フローティングライセンスサーバーの IP アドレスで指定します。

172.16.10.128:8888

(ここでは 172.16.10.128 を指定していますが、こちらの IP アドレスは環境ごとに異なります。フローティングライセンスサーバーをインストールした PC の IP アドレスを入力してください。)

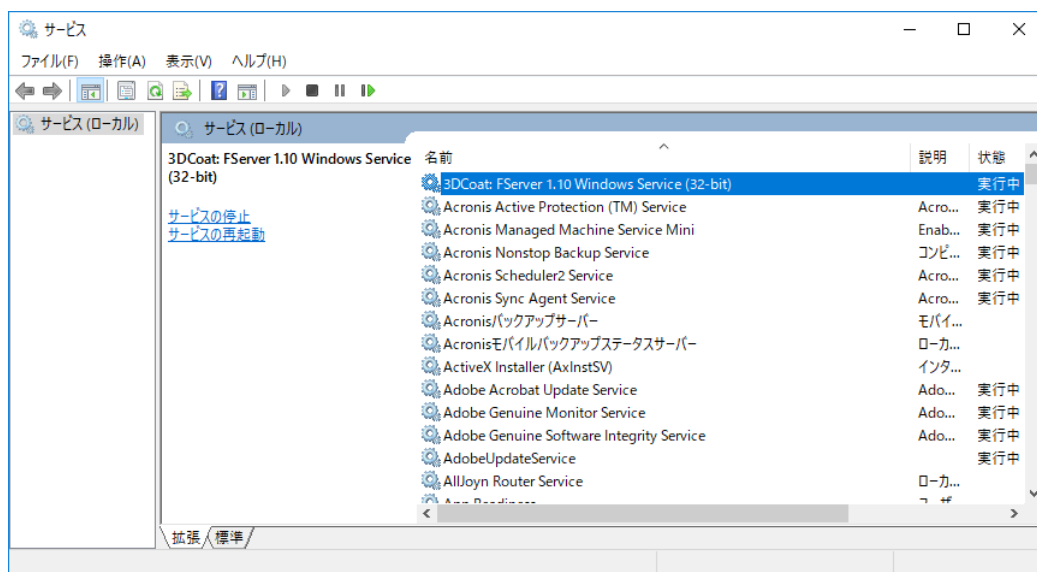


クライアントからも同様の画面が表示されればフローティングライセンスサーバーとの通信も正常です。こちらが表示されない場合、ファイアウォール等で通信がブロックされている可能性があります。サーバーのセキュリティ設定を確認してください。

2. Windows サービスの確認

サービスとして稼働させた場合も同様にブラウザで動作確認ができます。

サービス自体の稼働状況は、タスクマネージャーのサービスタブから「サービス管理ツール」を開き、「3DCoat: FServer 1.10 Windows Service (32bit)」の稼働状況を確認します。



サービス管理ツール上に「3DCoat: FServer 1.10 Windows Service (32bit)」が存在するか、また、

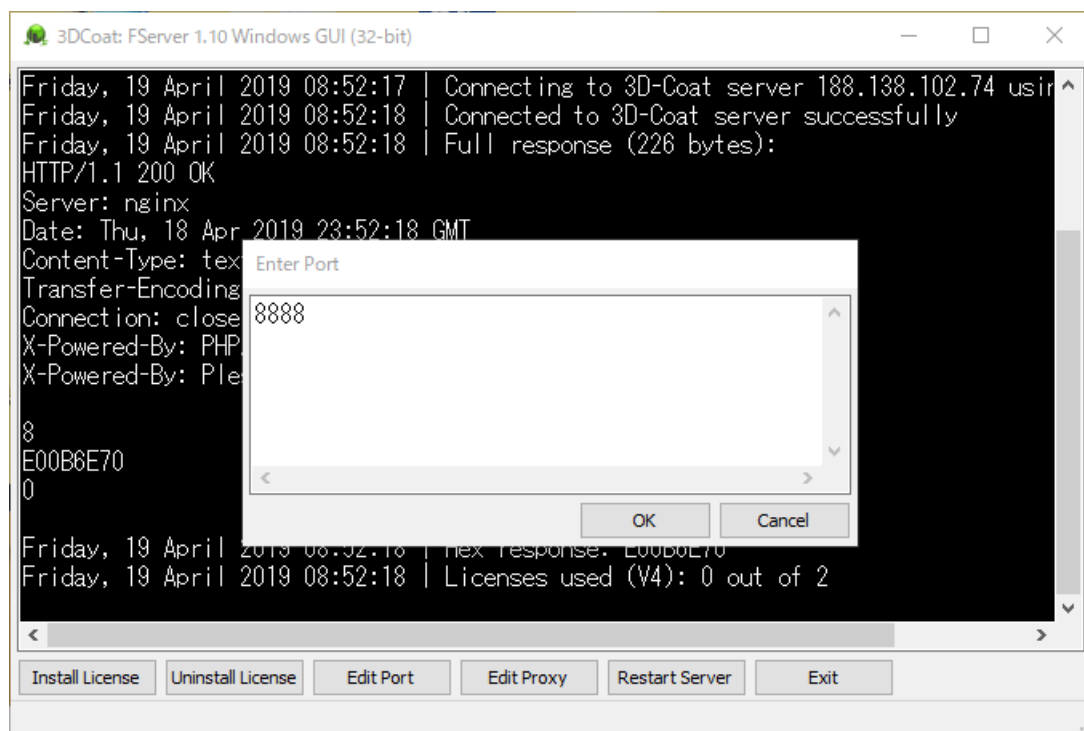
このサービスが実行中かどうかなどを確認します。

こちらのサービスはインストール時に自動的に実行するように設定されますので、再起動時も自動で実行されます。

高度な設定

1. フローティングライセンスサーバーの利用ポート番号を変更する

フローティングライセンスサーバーの利用ポート番号をデフォルトの TCP8888 から変更する場合は、FServer を起動し、[Edit Port]ボタンをクリックします。



Enter Port のダイアログが表示されますので、こちらに任意のポート番号（現在のネットワーク環境で利用のないポート番号）を入力して[OK]をクリックしてください。

同じフォルダ内にポート番号が記載された port.dat というファイルが生成されます。

GUI プログラムのサーバーを使用する場合は[Restart Server]ボタンで再起動してください。

指定したポート番号でサーバーが起動します。

Windows サービスの場合は、コマンドラインから

```
>FServer_Service stop
```

```
>FServer_Service start
```

と入力し、Windows サービスを再起動してください。

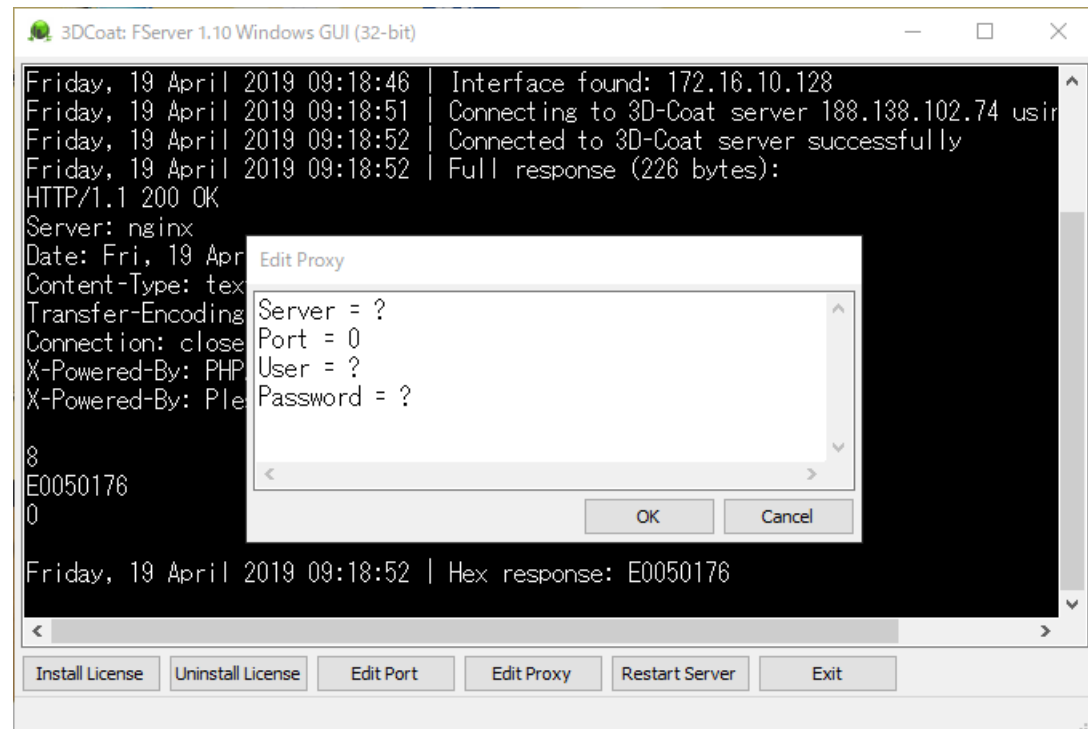
または、サービス管理ツールから「3D-Coat: FServer 1.10 Windows Service (32bit)」を

再起動してください。

port.dat が同じフォルダ内にある場合は、そちらに指定されたポート番号でフローティングライセンスサーバーの Windows サービスが実行されます。

2. プロキシ環境で使用する

FServer を起動し、[Edit Proxy]ボタンをクリックします。



Server= プロキシサーバーの IP アドレス

Port= プロキシサーバーの使用ポート番号

User=プロキシサーバーへの認証ユーザー名(設定がない場合はそのまま、もしくは空欄)

Password=プロキシサーバーへの認証パスワード(設定がない場合はそのまま、もしくは空欄)

それぞれ入力して[OK]を押してください。同じフォルダ下にこれらの情報の記載された

proxy.dat ファイルが生成されます。

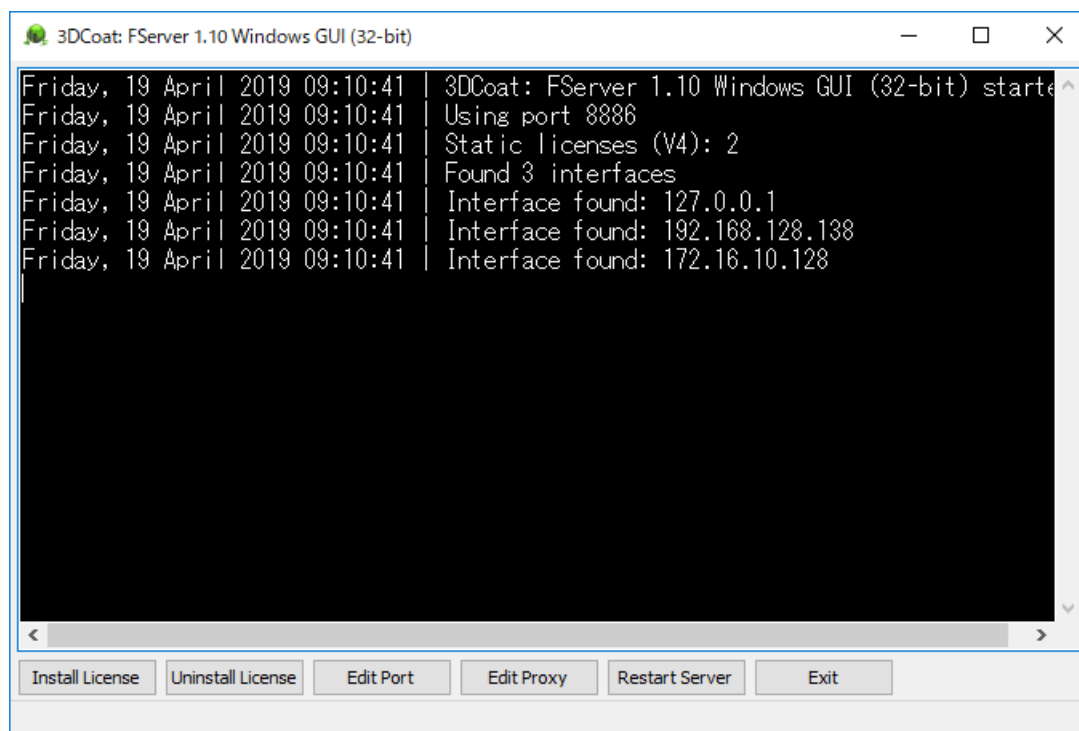
GUI の場合は[Restart Server]、Windows サービスの場合はサービスを再起動すると、こちらのプロキシの設定でフローティングライセンスサーバーが実行されます。

【注意】

[Edit Proxy]で設定した内容は[Restart Server]で再起動するまで、再度[Edit Proxy]を押してダイアログを表示させても反映されません。設定を変更する場合は、一度、サーバーを再起動の上、再度設定してください。また、プロキシを解除する場合は proxy.dat を削除してください。

3. オフラインライセンス

インターネット環境のない場所でフローティングライセンスサーバーを稼働させるため、オフラインライセンスのオプションがあります。必要に応じて申請して取得してください。オフラインライセンスを使用する場合は、FServer を起動し、[Uninstall License]を実行の上、[Install License]ボタンで再度オフラインライセンスのシリアル番号を入力してください。FServer と同じフォルダに static.dat が生成されます。



こちらのようにインターネットへの接続なしにライセンスサーバーが起動します。Windows サービスの場合は、GUI でライセンスの再インストールを行った上でサービスの再起動を行ってください。

上級者向け情報

1. 設定データについて

license.dat、static.dat、port.dat、proxy.dat はそれぞれ設定データが記載されたテキストファイルです。
従って、FServer の GUI メニューを使わずに、直接テキストファイルを作成することができます。

- license.dat、static.dat

シリアル番号を入力します。

V4PWIN-KK3333-KK4444-KK3333

ハイフンもそのまま入力し、改行は入れないでください。

- port.dat

任意のポート番号を入力します。

9999

ポート番号を入力し、改行は入れないでください。

- proxy.dat

192.168.100.254

8080

proxy_user

proxy_password

上から、プロキシサーバーの IP アドレス、ポート番号、ユーザー名、パスワードを入力します。

ユーザー名、パスワードが指定されていない場合は、改行のみとします。

こちらは、パスワードの後に改行を入れてください。